

FROM SENDAI, TO TOHOKU

仙台発 震災復興に向けた3つの広がり



photo by Koimizu Yasutoshi

仙台発、復興支援プロジェクト合同展示

アーキエイドと東北工業大学工学部建築学科復興支援室が連携し、東北工業大学で教鞭を執る教授や講師が東日本大震災後に行ってきた復興支援プロジェクトや、アーキエイドが今夏に石巻市牡鹿半島で行ったアーキエイドサマーキャンプ、一般社団法人MMIX Labが行った「311メモリアルプロジェクト」を合同で展示する『TIT ギャラリー展 2011 FROM SENDAI TO TOHOKU』を開催致します。東日本大震災から7ヶ月が経った今でも、津波による大きな爪痕が今もなお残る仙台。震災発生以降、国内では数えきれないほど復興支援プロジェクトが立ち上がりましたが、その中でも自らを被災地である仙台に身を置く人々は何を思い、それぞれのプロジェクトを立ち上げたのか。今回のTIT ギャラリー企画展 2011では、そんな、自らが生活していた土地のあまりにも残酷な姿を目の前にしながらも震災後すぐに立ち上がった仙台発のプロジェクトを一同に集め、その成果、活動についてご覧いただきたいと思えます。仙台から、東北、日本の全ての人々へ。

開催概要

- 【期間】 2011年10月28日(金)～2011年12月18日(日)
金、土、日、祝日
金：16:00～20:00 土・日・祝日：10:00～19:00
- 【会場】 東北工業大学 八木山キャンパス5号館5階 TIT ギャラリー
宮城県仙台市太白区八木山香澄町 35-1
- 【入場料】 無料
- 【主催】 ArchiAid/ 東北工業大学工学部建築学科復興支援室/
東北大学防災科学研究拠点/ 東北工業大学福屋研究室
- 【協力】 MMIX LAB/ 東北工業大学建築学科 有志団体 colors

シンポジウム

- 【日時】 2011年11月19日(土) 17:30～19:30 541教室

ArchiAid

仙台を中心に結成された、建築家による復興支援のネットワーク。数々の支援活動をネットワーク化し、支援を必要としている被災地に適切に導くプラットフォームとなる事を目指す。被災地再建支援のための基盤作りと活動、被害を受けたデザイン教育の復興、震災知識の集積と啓蒙などを活動目的とする。

archiaid.org



photo by Atarashi Ryota

ArchiAid
Relief and Recovery by Architects
for Tohoku Earthquake and Tsunami

東北工業大学建築学科復興支援室

東日本大震災発生翌日には建築学科災害対策本部を立ち上げ、学生の安否確認などにあたる。その後、地域に根差してきた学校のあり方を踏まえ、復興支援に対応する使命がある、との思いから建築学科独自に「復興支援室」を設置。被災地の方からの多様な相談・要望への長期的、組織的対応を図る。

stactrsv.arch.tohotech.ac.jp/earchs

東北工業大学
東北工業大学

3.11 メモリアル MMIX Lab

MMIX Lab [代表：村上タカシ]
既成の芸術の枠組みにとらわれず、各種メディアを融合させ、アートと地域文化を結び創造的芸術活動を行っている。また、市民や企業、行政等と協働で新しい公共としての社会システムを形成していくことを目指す。
mmix.org



M
MMIX LAB